

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置安全監視チーム会合に係る面談
2. 日時：令和2年2月7日(金)11時00分～12時20分
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁 原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門  
田中主任安全審査官、有吉主任技術研究調査官、小舞管理官補佐、堀内安全審査官、  
内海研開炉係長、佐々木技術参与  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他4名
5. 要旨  
○原子力機構から、次回のもんじゅ廃止措置安全監視チーム会合の資料案等について、資料に基づき説明があった。  
  
○原子力規制庁より、以下のとおり伝えた。  
(資料1について)
  - ・燃料体の処理作業に当たり、不具合が発生していた場合には、前広に説明すること。
  - ・燃料体取出し作業工程及びホールドポイント(燃料体の処理作業開始前の確認)に係る箇所について、前回会合資料を参考に実施状況や予定を記載すること。
  - ・ホールドポイント(燃料体の処理作業開始前の確認)で確認するとしている項目のうち、燃料体の処理作業に必要となる検査の位置付けについて、法令に基づき行うものなのか、事業者として自主的に行うものなのか具体的に記載すること。また、作業体制の確立についても具体的な確認項目を記載すること。  
(資料2について)
  - ・資料2の冒頭において、今回の部分装荷による影響評価の方法、結果の全体概要(流れ)を記載し、説明すること。
  - ・資料2-1コメント一覧について、主なコメントに対する回答がパワーポイントの資料上どこに記載されているかを明確にすること。
  - ・これまでの監視チーム会合での指摘や面談で行った確認事項は、補正時に技術的なまとめ資料を作成した上で併せて提出すること。  
○原子力機構から、承知した旨返答があった。
6. その他  
資料1：「もんじゅ」の燃料体取出し作業の進捗状況  
資料2：「もんじゅ」廃止措置計画の変更内容(模擬燃料体の部分装荷)  
資料2-1：模擬燃料体の部分装荷に係るコメント一覧